

別紙

2020 年度大会 水球、A S の特別措置計画（参考）

【水球】

少年男子

◆直近の「全日本ジュニア」（2020 年 3 月）の予選会結果を優先し決定する。

原則として全日本ジュニア出場都府県を国体出場都府県とする。

ただし、全日本ジュニアと国体の参加枠が異なるブロックについては、予選会順位、対戦成績等を参考に、各ブロックで適切な方法により決定する。（適切な方法とは客観的事実に基づき、公平性・納得性を考慮し、抽選もあり得る）

女子

◆昨年度の国体出場を優先し決定する。

昨年度の出場チームを最も優先すべき事実として、代表都府県を決定する。

ただし、昨年度と出場枠が異なるブロックについては、昨年の国体成績、同国体予選等の成績を参考に、各ブロックで適切な方法により決定する。

【A S】

◆昨年度の主要競技会の結果を優先し決定する。

2019 年度に実施された大会の中で、国体参加資格年齢基準の選手が出場した下記の対象大会から、「1」を最優先とする。

「2」については、ブロックごとにブロック大会エントリー選手の成績を対等に比較できるよう、複数の大会および種目を選択した上で、ブロック内にて客観的事実に基づき公平性・納得性を考慮し、協議の上決定する。

1. 第 17 回 FINA 世界ジュニア選手権大会 A S 女子日本代表派遣選手選考会（2020 年 2 月）の選考結果

2. 全国大会および各予選会の結果

① A S ナショナルトライアル 2020（2020 年 1 月）

ア. デュエット規定要素 イ. チーム規定要素

② 日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ 2019（2019 年 8 月）

③ 第 42 回 全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会（2019 年 8 月）

※その他の大会結果は参考としない。